

2021 年度 事業計画書

学校法人 名城大学

本法人は、1926年開設の名古屋高等理工科講習所を源流とし、歴史と伝統に輝く中部地区屈指の教育機関として、これまでに20万人を超える卒業生を輩出してまいりました。

世界規模で進む激しい社会変化の中で、教育機関には、予測不可能な時代を生き抜く人材を養成することが求められています。さらに、このたびの新型コロナウイルス感染症拡大を契機に、教育の在り方に関する社会的関心は一層高まりました。

このような中、本法人では、立学の精神である「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」に基づき、社会が求めるバランス感覚と実行力を兼ね備えた人材の育成に努めています。具体的には、開学100周年を迎える2026年を目標年とする戦略プラン「Meijo Strategy-2026」を2015年度から推進しており、ビジョンである「大学：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく『学びのコミュニティ』を創り広げる」、「高校：『多様な経験』を創り出す『挑戦する学校』」の実現を目指しています。さらに、2019年度には、2027年以降の将来ビジョンとして、「中部から世界へ 創造型実学の名城大学」を策定しました。この「創造型実学」は、「様々な課題に直面したとき、物事を中心に立ち、解決するための知識、技術、アイデアを集め、具体化する力、それを身につける学び」と定義し、今後さらに増加する「答えのない問い」に対しても、学生・生徒が自ら課題を設定し、先見性・多様性・専門性をもって最善解を導き、それを実行・実現できる能力を育成する、という思いを込めています。

これらビジョンの実現へ向けて、2021年度に各設置学校及び法人が実施する主な事業について本計画書にまとめました。全構成員が一丸となり、本計画を着実に推進してまいります。

2015-2026

MS-26 戦略プラン

—開学 100 周年に向けて—

立学の精神：「**「穏健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する」**

【大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観】
生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

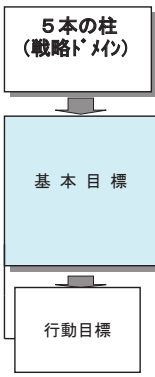
Vision：多様な経験を通して、学生が大きく羽ばたく「**学びのコミュニティ**」を創り広げる

Mission：（**教育ミッション**）主体的に学び続ける「**実行力ある教養人**」を育てる

（**研究ミッション**）「**学問の探究と理論の応用**」を通して、**成果を教育と社会に還元する**

（**社会貢献ミッション**）**社会との「人的交流」**を通して、**地域の活性化に貢献する**

Key Performance Indicators (KPI)：学生の大学に対する満足度、学生の学修成果、就職満足度、卒業後の帰属意識、教職員の帰属意識



- 1) 戦略計画
- 成果指標



2015-2026
MS-26 戦略プラン
-開学 100 周年に向けて-

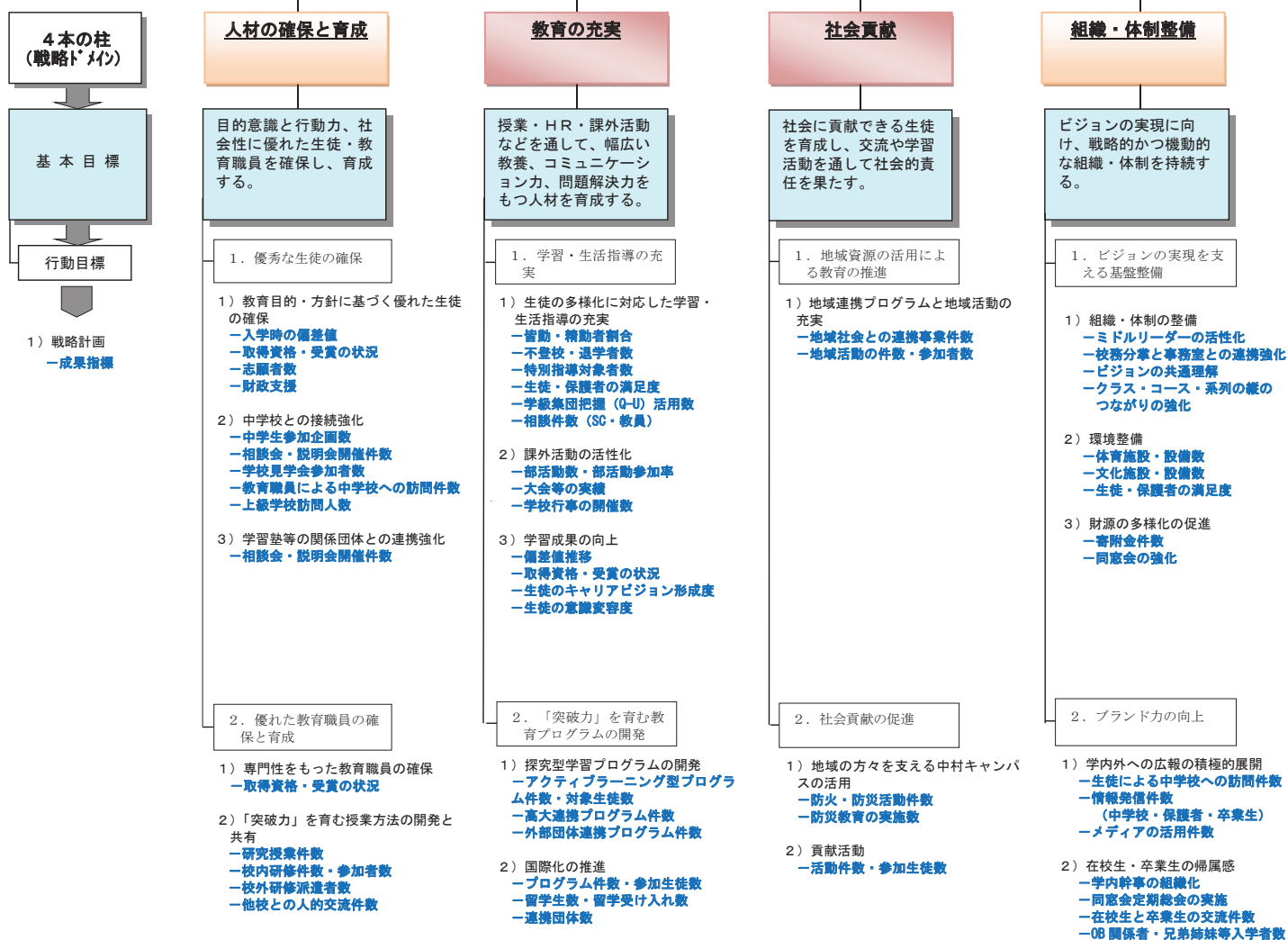
立学の精神：「**穩健中正で実行力に富み、国家、社会の信頼に値する人材を育成する**」

[大学・高校に関わる全ての人達と共有したい価値観]
生涯学びを楽しむ・・・「Enjoy Learning for Life」

Vision：「**多様な経験**」を創り出す「**挑戦する学校**」

Mission： （教育ミッション）「主体的に学ぶ力」と「突破力」を備えた生徒を育成する
（社会貢献ミッション）「人的交流」や「学習活動」を通して、社会的責任を果たす

Key Performance Indicators (KPI)：卒業後の帰属意識、生徒・保護者の学校に対する満足度



大学

1. 人材の確保と育成

(1) 優秀な学生の確保

- ・ 新たな入試制度の導入及び入試広報の強化により、多様な素養を持つ質の高い学生を確保する。

(2) 優れた教職員の確保と育成

- ・ 専門性を持つ優れた事務職員の確保に向けた採用方針・計画を策定する。
- ・ URA (ユニバーシティ・リサーチ・アドミニストレーター) 制度を導入・活用し、研究活動を支援する。
- ・ 教育・研究支援の充実に向け、特任助手制度を検証し改善する。

2. 教育の充実

(1) 学生の多様な経験による主体的な学びの促進

- ・ 社会ニーズを踏まえた数理・データサイエンス・AI 等に係る教養教育を構想する。
- ・ 副専攻制度の充実に向けた取り組みを推進する。
- ・ 学生の主体性と実践性を育む教育改善を実施する。
- ・ 学修ポートフォリオの導入により、学修成果の可視化及びキャリア支援を充実させる。
- ・ 各種教育プログラムを活性化し、学生の多様な経験による主体的な学びを促進する(学びのコミュニティ創出支援事業等)。
- ・アントレプレナーシップを養成する新たな人材育成プログラムや拠点整備等を推進する。
- ・ 交換留学制度の拡充により、海外留学派遣学生及び受入れ留学生を増加させる。
- ・ グローバルプラザの利用促進により、英語力向上とグローバルマインド涵養を図る。

(2) 学修・課外活動・学生生活支援サービスの充実

- ・ クラブ活動の活性化に向けた取り組みを推進する。
- ・ 退学者減少に向けた取り組みを推進する。

3. 研究の充実

(1) 独創的研究の推進と研究成果の社会への発信

- ・ 外部資金獲得に向けた教員サポートを充実させる。
- ・ リサーチフェア、外部の技術相談会、展示会において研究シーズの情報発信、マッチングに繋ぎ、共同研究件数を増加させる。
- ・ URA 制度を導入・活用し、研究活動を支援する。【再掲】

(2) 国際的な研究拠点の育成と強化

- ・ LED・カーボンナノチューブに加え、新たな世界的研究拠点の形成に向けた取り組みを推進する。

4. 社会貢献

(1) 地域支援の充実

- ・ 行政・企業等との社会連携事業を推進し、社会的要請への対応及び地域課題の解決に取り組む。

(2) 社会人の学び直しの機会の提供

- ・ 社会的要請を反映した公開講座等の企画・運営により、社会人の学びや生涯学習の機会を創出する。

5. 組織・経営改革

(1) 組織の活性化

- ・ 情報工学部設置に向けた取り組みを推進する（情報工学部：2022年度開設予定・設置構想中）。
- ・ 社会のニーズを踏まえた大学院・学部・学科の改組等に向けた取り組みを推進する。
- ・ 事務職員新人事制度導入に向けた取り組みを推進する。
- ・ 本学で行われる教育の継続的改善活動である教学マネジメントシステムを実質化する。

(2) ブランド力の向上

- ・ ブランド力向上に向けた広報戦略を策定する。
- ・ 東京オフィスを移転し、文部科学省及び各種関係団体の動向・情報を収集し活用する。
- ・ 新たに立ち上げた卒業生組織である名城企業会の拡大に向けた取り組みを推進する。

(3) ビジョンの実現を支える基盤整備

- ・ コンプライアンス基本原則を策定し、その推進に係る研修等を実施する。
- ・ ICT活用の推進に向けた環境を整備する。
- ・ 研究実験棟Ⅳを竣工させる。
- ・ 建物の効率的な運用管理を行う。
- ・ 収支改善を推進し、安定的な財政基盤を維持・強化する。
- ・ 業務改善により効率化を追求し、経営体質を強化する。
- ・ 感染症流行等の緊急事態においても、教育研究活動を継続できる体制を整備する。

(4) 開学100周年事業の推進

- ・ 開学100周年事業に係る情報を学外に発信する。
- ・ 開学100周年に係る募金事業を立ち上げる。

高校

1. 人材の確保と育成

(1) 優秀な生徒の確保

- ・ 入試制度の改善及び入試広報の強化により、質の高い生徒を確保する。

2. 教育の充実

(1) 学習・生活指導の充実

- ・ 生徒一人ひとりの学力に合わせた学習指導法の導入に向けた取り組みを推進する。
- ・ カウンセリング支援体制を強化する。

(2) 突破力を育む教育プログラムの開発

- ・ 生徒の意欲を引き出す体系的な探究型学習プログラムを開発・推進する。
- ・ 多様な経験を創出する国際関係プログラムを開発・推進する。

3. 社会貢献

(1) 地域資源の活用による教育の推進

- ・ 地域との交流プログラムを開発・推進する。

4. 組織・経営改革

(1) ビジョンの実現を支える基盤整備

- ・ 建物の効率的な運用管理を行う。
- ・ 収支改善を推進し、安定的な財政基盤を維持・強化する。
- ・ 業務改善により効率化を追求し、経営体質を強化する。
- ・ 感染症流行等の緊急事態においても、教育を継続できる体制を整備する。

(2) 開学 100 周年事業の推進

- ・ 開学 100 周年事業に係る情報を学外に発信する。